

☆READ 2020☆第8弾

先生方によるおススメ本紹介企画



「山口百恵 赤と青とイミテーション・ゴールドと」

中川右介/著者・(株)朝日新聞出版/発行

歳月を経てようやくその巨大な存在に気づくことがある。軽薄な存在とてんから決めつけていたアイドル、山口百恵は引退から40年が過ぎてもその輝きが衰えない。そののっぴきならない才能と偉業を腑分けして見せてくれる労作である。「1980年の松田聖子」(石田伸也)も併せて読みたい。



高校3学年アドバイザー 兼 英語アドバイザー・英語 石原英明

「使える!「国語」の考え方」

橋本陽介/著・(株)筑摩書房/発行

真の「国語力」とは何なのか。教科書に掲載された名作にツッコミをいれつつ、現代文の授業が何を狙っているのかの謎解きが行われる。文学・倫理といった枠や受験科目にとらわれないで、様々な教科で得た知識が結びついて教養になることを教えてくれる一冊。



高校3年A・B組副担任・国語 山野恵子

「しゃばけ」

畠中恵/著者・(株)新潮社/発行

時は江戸時代、江戸は通町の廻船問屋兼薬種問屋・長崎屋の病弱な若旦那・一太郎が、付喪神や妖怪たちが起こす様々な事件を解決する短編集。難しいことを考えず楽しめるシリーズ。



高校3学年副担任 兼 国語アドバイザー・国語 飛永和義

「はてしない物語」

ミヒャエル・エンデ/著・(株)岩波書店/発行

ドイツの児童文学作家・ミヒャエル・エンデの名作。主人公が偶然手にした本『はてしない物語』に描かれた架空の世界での旅を通じて、本当の自分を探し出す広大なファンタジー。読み始めた途端に内容に引き込まれ、早く次のページを開きたくする本にはなかなか出会えません。



高校3年E・F組副担任・数学 鈴木敏道

「人を奮い立たせるリーダーの力」

平尾誠二/著・(株)マガジンハウス/編集・発行

「平尾語録」とでも呼ぶべき珠のような91の言葉。ひとつひとつのメッセージが簡潔にまとめられ、自分自身の経験に照らし合わせて振り返ることができるくらいに解像度が高く説明されています。人生の処方箋になるヒントが盛りだくさんです。



高校3年学年主任 兼 公民科主任・公民 川下智史

「眠れないほど面白い空海の生涯」

由良弥生/著・(株)三笠書房/発行

我が学校の母体・成田山新勝寺の宗派は真言宗智山派です。その真言宗の開祖「空海」は唐に渡り、真言密教の真髄を日本にもたらした天才です。また、筆は三筆に数えられ、初めて私学である綜芸種智院をも作りました。その空海の生涯をわかり易く、楽しく書いている本です。是非、読んでほしい一冊です。



社会科講師・榎田伸一郎

「プロ論。」

B-ing編集部/編・(株)徳間書店/発行

ちょっと昔の「今、活躍している人」の考え方や、仕事に対する取り組み方が数ページで書かれています。色々なジャンルの人が一冊で50人ほど掲載されていて、とても読み易く、参考になります。目指すジャンルの人をつまみ読みするのも良いと思います。



高校3年A組担任 兼 教育相談部長・保健体育 梁川啓介

「動物の箱舟」

ジョエル・サートレイ/著者・日経ナショナルジオグラフィック社/発行

皆さんは世界中に住む動物のことをどのくらい知っていますか?本書は“絶滅から動物を守る撮影プロジェクト”として撮影された動物たちの写真集です。数少ない彼らを守るためには、まず知ることから。この本で、たくさんの動物たちに出会ってください。



事務職員・岡田茜

「感謝離 ずっと一緒に」

河崎啓一/著・(株)双葉社/発行

新聞投稿が話題になって書籍化された。断捨離ならぬ「感謝離」とは?素敵な夫婦の半生と愛が描かれている実話。愛おしく感謝しながら手放す「感謝離」は、大切なモノの整理にも使えそう。考え方ひとつで前向きになれることを教えてくれる一冊。



高校3年B組担任・保健体育 菅野さおり

「カフーを待ちわびて」

原田マハ/著・(株)宝島社/発行

沖縄の小さな島で起こる優しくて少し苦い恋のお話。沖縄の青い海、青い空、白い砂浜が目の前にあるように感じられる作品です。気兼ねなく旅行に行けるようになるまで、小説の中を旅してみませんか?



事務職員・辻陽菜